

森林・山村多面的機能発揮対策交付金制度

関係人口創出・維持タイプについて

森林・山村多面的機能発揮対策

- ◆地域住民、森林所有者等が協力して実施する里山林の保全、森林資源の利活用などの取り組みを支援。

支援対象

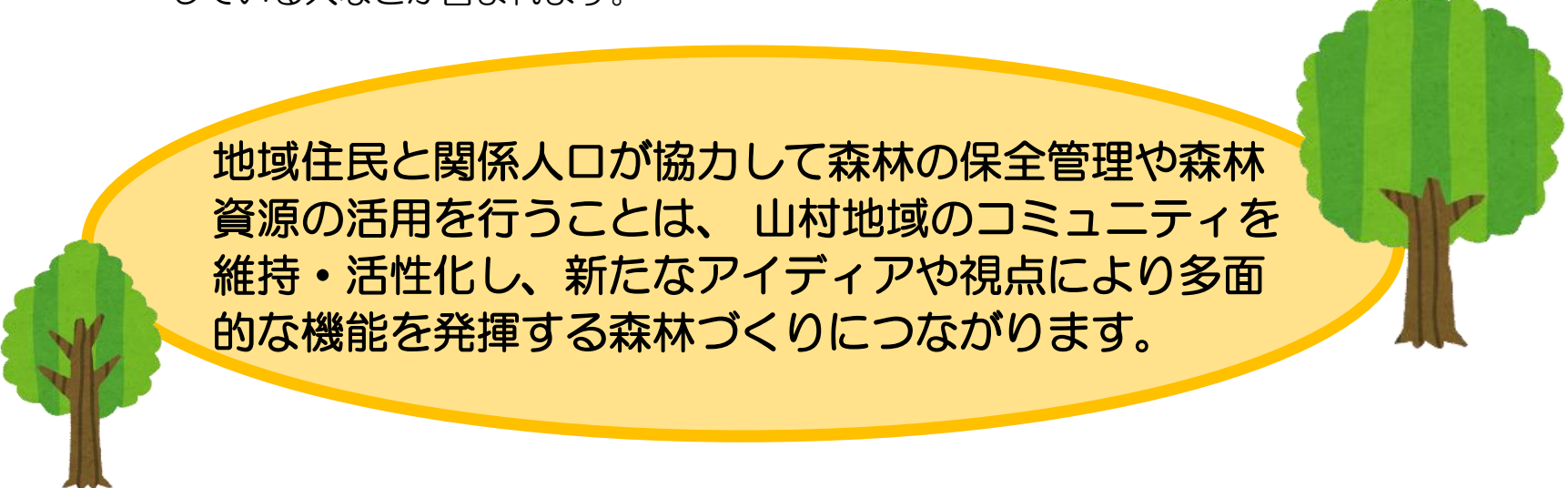
- ◆メインメニュー
地域環境保全タイプ・森林資源利用タイプ
- ◆サイドメニュー・・・メインメニューとの組み合わせで実施できます。
森林機能強化タイプ・資機材、施設の整備・**関係人口創出・維持タイプ**

活動内容

- ◆地域外関係者との活動内容の調整
- ◆地域外関係者受入のための環境整備
- ◆これらの活動に必要な森林調査・見回りなど

地域外関係者（関係人口）とは・・・

その地域に移住している定住人口ではなく、観光に来た交流人口でもないが、その地域と深い関わりのある人。
関係人口には、その地域にルーツのある人や、過去に住んだことのある人、頻繁に行き来している人などが含まれます。



地域住民と関係人口が協力して森林の保全管理や森林資源の活用を行うことは、山村地域のコミュニティを維持・活性化し、新たなアイデアや視点により多面的な機能を発揮する森林づくりにつながります。

採択要件

- ◆地域外関係者の参加を得て活動することが、地域環境保全タイプまたは森林資源利用タイプの活動を効果的に実施するために必要。
- ◆活動を実施する対象森林の所在する昭和25年2月1日における市町村の区域以外に居住する者。
- ◆地域外関係者の参加人数が10名以上。
- ◆活動は年1回以上。
- ◆交付金の採択申請時に、地域外関係者との現地確認や活動内容の調整が完了し、相手方名なども決まっていること。